

別離

匂やかな、そして清々しい
そこへ行く道すがら
僕の言葉は映像も音楽も知らぬふり
ええ
そうです
哀しみを感じるなら、それは 霧のようなもの
眠りのなかで揺らいでいたものではなく
この道すがら見上げる木々
ああ、空がある
僕は、そっと立ち去るんです
ええ
そうですとも
複雑極まりない生活であっても
その中を涼しい顔で行く道すがら
僕は思い出すでしょう
ああ、心が踊ろうと胸をはずませている
それは 愛のようなもの
匂やかな、そして清々しい

(2004.5.3)